

2023 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

読解問題3題, 語い・文法問題3題, 和文英訳問題1題という大問構成となっています。

【1】 長文読解問題 (エッセイ)

アメリカ人の筆者がスペインでの夏期留学中に、サグラダ・ファミリアを見学しようとしたところ、持ち合わせの現金が不足して入場料が払えなかったが、たまたま居合わせた1人の女性が機転をきかせて足りない分を補ってくれたという話です。問1の語句整序は、be excited at ~「～に興奮している」の後に名詞の the chance「機会」がくることがポイントです。その後は不定詞形容詞的用法の to study abroad「留学するための」がくると判断します。問6の priceless の意味は、「値段がつけられないほど価値がある」となるので、valuable を選びます。問9の適語句選択は、<should have 過去分詞>で「～すべきだった(の)に実際にはしなかった)」という意味になるので、これがその時の筆者の心情に合致します。

【2】 長文読解問題 (説明文)

ペットを飼うことが健康維持等に大いに役立つことを述べた文です。問2の和訳は、使役動詞 make の形<make O 動詞の原形>「O に～させる」と訳すことがポイントです。問5の文整序は、まず最初に①の文が最初にくると判断し、③の They が②の the dogs を指すことがわかれば、①→②→③の順序を確実に選べます。問6の内容説明は、下線部(8)の直前の内容を指定の字数以内にまとめます。その他の設問については、本文を丁寧に読み進めていけば、正解を得られるものと思います。

【3】 長文読解問題 (スピーチ)

他人に対して行った善行は、自分が困難に直面したときに大いに役に立つという教訓の話です。本文にはあの有名なデュオ、サイモン&ガーファングルのアート・ガーファングルのエピソードが出てきます。問1の同意語抜き出しは、下線部(1)の financial aid「金銭的援助」から、お金に関する語であると判断できるので、本文3行目にある scholarship「奨学金」を選びます。問4の英文解釈は、下線部(4)の直前にある If 以下の内容を読んで正解を判断します。問5の指示内容抜き出しは、下線部(5)の did の内容は、前の段落の take the time 以下10語を指していると判断し、過去形の did に合わせて、take を過去形の took に

します。

【4】 対話文完成問題

4問とも対話文の内容から答えを判断する問題です。4は「食べるための道具」なので、不定詞 to eat の後に前置詞 with 「～を使って」がきます。

【5】 語句整序問題

3問ともまず、並べ替える英文の日本語の意味を考えます。1は since を含む現在完了形(継続)で、「～以来ずっと…だ」の文になります。2は so～that…「あまりに～なので…だ」、3は How many times 「何回」で始めることがポイントになります。

【6】 連立完成問題

2問とも難問です。1は、(a)の文の face 「顔」が(b)の文では動詞 looked になっていることに着目し、(a)の文の voice 「声」に相当する語として、(b)の文では動詞 sounded が空所に入ると判断します。2は、(a)の文が「喜びを表さずにはいられなかった」となるので、その言い換えで「喜びを隠すことができなかった」とし、(b)の文の空所には hide が入ると判断します。<can't help ~ing> 「～せずにはいられない」は重要表現なので、しっかり覚えておきましょう。

【7】 和文英訳問題

1は受動態で、<be 動詞+過去分詞>の形にします。2は<比較級 than any other 単数名詞>の形がもっともわかりやすいです。形容詞は better 以外に、more excellent なども可です。3は現在完了(完了)の形で表すのがよいですが、過去形でも可です。「～に…するように頼む」は ask 人 to…の形で表すのがよいでしょう。今回の和文英訳は基本的な文法事項を用いた英文なので、解答欄を空所にしないでなるべく書いてみるのがよいでしょう。

2023 第 1 回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

基本的な知識を問う問題から、それらの知識を応用させた問題まで幅広く出題しています。苦手単元の克服だけでなく、問題の条件を正確に処理する力を身につけるために、十分に考え抜くような復習をしてくれることを願っています。

【1】 計算問題

中学 3 年生で学習した、式の展開と因数分解、平方根から出題しています。どれも受験では必ず正解したい難易度の問題になっています。

【2】 小問集合

平方根の利用、図形の角度、立体の体積からの出題です。(3) は二等辺三角形の性質、三角形の内角の二等分線に関する頻出の問題を組み合わせたような問題になっています。(4) はまだ解き慣れていない受験生が多かったかもしれませんが、重要な問題です。解説をしっかりと読んで、解けるようにしておきましょう。

【3】 一次関数と図形

一次関数と三角形の面積に関する問題です。(2)・(3)ではともに交点の座標を連立方程式によって求めることが必要になりますが、グラフの図が与えられていないため、よく考えて自分で書いてみることも大切です。

【4】 平面図形

三角形の面積と線分比に関する問題です。計算量は少ないものの、高さが共通な 2 つの三角形の底辺と面積の関係を十分に理解しているかが問われています。(1)・(2)は確実に正解したい問題と言えるでしょう。

【5】 空間図形

八面体に関する問題です。(1)は解きやすいように見えますが、案外正答率は高くないのではないのでしょうか。空間図形の問題において、重要な解法の 1 つに「平面に着目」して考えることが挙げられます。本問も、そのような解法を身につける良い練習になるのではないかと考えています。

【6】 確率

さいころの確率に関する問題です。場合分けがいくつか必要になることから、難易度は他の問題に比べて高く感じるかもしれません。問題の誘導に沿って数え忘れのないように、正確に数えていく必要があります。

2023 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

現代文・古文・文法とバランスを考慮して出題しています。文章の内容を論理的に取り、それを表現する記述力を試す問題となっています。現代文に加え、古文でも五十字の記述問題を出題し、学年の最初からしっかり書かせるテストに設定しています。

【一】 漢字の読み書き

書き取りは特に難解なものはありませんが、(2)・(4)など画数の多いものは気を付けて覚えておきましょう。読みの(5)・(7)・(8)は普段使わない言葉でしょうが、これを機に覚えてほしい言葉です。漢字の問題は、読み書きができるようになるのは勿論のこと、語彙を増やす機会と捉え、学習に役立ててほしいです。

【二】 論説文の読解…………… 高桑和巳『哲学で抵抗する』。

「哲学」とは何かを考えるうえで、「抵抗」という部分に焦点をあてた文章を採り上げました。テーマは抽象的で難しいですが、筆者は具体例を挙げながら丁寧に説明を進めています。このような文章は、具体的な説明を一つ一つふまえて抽象的な内容を理解することが大切だということを知ってほしいです。最後の問八は「哲学」をどのようなものだと筆者は考えているかを問うていますが、「哲学」についての説明が少ないので難しかったでしょう。「抵抗」について読み取ったことをもとに「哲学」がどのようなものか考える必要があり、正解できていれば文章全体の理解ができているといえるでしょう。

【三】 随筆文の読解…………… 最果タヒ『きみの言い訳は最高の芸術』より「ちゃんと嫌われたい。」。

詩人・小説家として注目を浴びている筆者による他者とのコミュニケーションについて述べた文章を採り上げました。文章は会話的に書かれていて読みやすいですが、述べている内容がやや難しいです。ポイントは「マニュアル的態度」・「『透明』な存在」などの筆者独特の表現が何を表しているか、他の部分からしっかり読み取ることができるかどうかです。「主張」と「嫌われる」というキーワードを押さえられたか確認してみてください。問四の記述問題は直前で述べていることの意味をきちんと理解したうえでないと、解答をまとめるのが難しいので、ここが得点できた人は自信をもっていいでしょう。

【四】 古文の読解…………… 『沙石集』 卷二ノ五。

『沙石集』は、入試では頻出の鎌倉時代の説話集の一つ。まずは古文を読み慣れるよう、比較的平易な、短めの文章を選びました。文法事項、古文単語の意味、登場人物の行動の理由、文学史の知識など、これからの古文の学習の基礎となるような事項について出題しました。記述問題は、現代文の読解にも通じるような、登場人物の心情を問う設問です。文脈を丁寧に読み取れる力を着実に身につけていきましょう。

【五】 文法問題

高校入試に必須の文法の知識について、主に助動詞と助詞の識別に関して出題しました。間違えた箇所については、解説をしっかりと読んで、十分に復習をしましょう。

2023 第 1 回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学の 4 分野からそれぞれ、中学 2 年生で学習する範囲の問題が中心です。受験勉強を始めたばかりで、初めての模擬試験だったという受験生も少なくないでしょう。応用問題を解くにしても、まずは各分野における基本的な公式や用語を正しく身につけていることが必要ですので、比較的多くに出題しました。問題形式への慣れや計算問題、時間配分といった戦略性は、回を重ねて徐々に身につけていきましょう。

【1】 電流とその利用①（電気回路）

電気回路における、電流・電圧・抵抗の関係と、抵抗の変化について問いました。オームの法則を用いた電流・電圧・抵抗の計算が正確にできる必要があります。抵抗の長さや太さが、直列回路や並列回路と同じように考えることができることは、新鮮に感じた受験生も多かったかもしれません。

【2】 化学変化と原子・分子①（化学変化、質量）

硫黄とさまざまな金属の反応の実験に関する問題を通して、知識と理解、計算力を試しました。物質の性質、化学反応式、実験操作、使用する試薬と発生する気体、気体の性質、化学反応における質量の関係……いずれも化学の基礎を成す概念です。深い理解に至るまで、しっかり復習しておきましょう。

【3】 天気とその変化①（気象観測、大気と雲、日本の気象）

一見数字の羅列のように見えるデータを、どの気象要素を示しているか、知識と常識から導き出すところから始まります。ここで間違えてしまうと後の設問にも響くので、その怖さも実感してほしいです。また、気温が急変するところ等、データの中で重要なポイントを的確に読み取れる力をつけてほしいと思います。

【4】 生物のからだのつくりとはたらき（細胞、植物、人体）

観察でよく用いられるヒトの口腔上皮細胞とオオカナダモの細胞をベースにして、顕微鏡の使用法、消化と酵素、組織・器官のはたらき等、幅広く問う問題形式としました。特に、細胞の大きさがなぜ小さいかという理由を考察することで、最終的に細胞の進化についての重要性を理解してもらいたいです。

【5】 化学変化と原子・分子②（化学変化，酸化・還元，質量）

銅を空気中で加熱したときの実験に関する問題を通して，反応前後の質量や粒子数の変化に関する知識と理解，計算力を試しました。特に，質量保存の法則を理解し，過不足なく反応する質量比，反応の前後における原子の個数と物質の質量との関係を，計算によって求める問題を確認しておきましょう。

【6】 電流とその利用②（磁界，電磁誘導，静電気，放射線）

電磁誘導や，コイルによる磁場の発生などについて，自然現象や日常生活における事柄と関連させて出題しました。電流と磁力の関連についての知識と理解が必要であり，また，それを自然現象や交通系 IC のしくみに応用して考えることができるかがポイントとなります。

【7】 天気とその変化②（大気と雲，日本の気象）

近年毎年のように見舞われる猛暑を題材にしました。日常で起こっていることと理科で学んだことをつなげて考えられるようになってほしく，作成しました。

2023 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野は、入試でも頻出の形式である図表を読み取って考える問題を中心に出題しました。

歴史分野は、古代～中世史の流れと社会経済史の重要事項について確認する問題を中心に出題しました。

公民分野は、人権思想の発展、日本国憲法の三大原則について、難関国私立高校に特有の出題内容を交えつつも、大部分は基礎的な事柄を出題しました。

【1】 東アジア・東南アジア・南アジア

(1)は都市の位置と気候との関係、(4)は図法ごとの違い、(9)は図表の正確な読み取り、他は国ごとの特徴の理解を問うものです。特に今回は、図表を見て国ごとの特徴を判断できるか否かで点数に差がつくような出題となっていますが、基本レベルの(2)・(5)・(9)・(12)も含めて、学習が十分でないと失点する問題も多くなっています。

【2】 日本の農林水産業

(2)と(4)はやや難解な内容も含まれますが、他は基本レベルです。【1】の正答率がやや低くなることを想定して、(3)と(6)の用語記述も含めてレベルを下げ、高い正答率を期待して出題しています。

【3】 原始～室町時代の歴史

(2)の2の弥生～飛鳥時代の日本と中国との関係は、使いを送った日本側の勢力と中国の王朝と組み合わせ覚えておくことが必要です。(3)の天武天皇の事績については、天智天皇と比較しながら押さえるようにしましょう。(4)の2の国風文化については、特に文学と美術についてきちんと区別できるようにしてください。(5)の平安時代末期～鎌倉時代にかけての武士の戦いについては、その名称だけでなく戦いが行われた地域とともに押さえるようにするとよいでしょう。(8)の1については室町時代の一揆、3は社会状況に関するものですが、いずれもこの時代に台頭してきた農民や商工業者の動向にも注目して学習を進めてください。

【4】 社会経済史

(1)の律令国家の税負担については租調庸の名称だけでなく、それぞれの内容や負担すべき人についても

きちんと押さえるようにしましょう。(4)の江戸時代の貨幣経済については、金銀貨幣の状況を中心に、それらを取り扱った商人についても理解しておくことが大切です。(5)の明治時代の社会・経済に関しては、明治維新時の殖産興業の他に、その後の産業革命の動向にも注意を向けるようにしましょう。

【5】 人権思想の発展，日本国憲法の三大原則

リード文では日本国憲法の前文を引用し、憲法前文の空欄補充問題も出題しました。また、(2)の設問でも日本国憲法のいくつかの条文について空欄補充をしてもらいました。公民分野の学習において憲法をよく読むことは当然大切ですが、難関校では厳しい空欄補充問題も出題され、普段からいかに憲法に親しんでいるかが試されます。今回の設問はよく使われる箇所を空欄にしており、厳しいものではありませんが、憲法をしっかりと読む意識を高めてもらいたいと思います。(5)のような自衛隊絡みの事柄については、難関校志望者は広めに勉強しておいたほうがよいでしょう。(7)の1で書いてもらった人間の安全保障のような比較的最近登場するようになった用語にも気を付けてもらいたいと思います。(8)の1で取り上げた三菱樹脂事件は高校生が勉強する事柄ですが、事件について紹介した文を読んで対応できたでしょうか。(8)の2では権利の章典の日本語訳を資料として載せました。この設問はイギリスで1689年に制定されたと設問文に書いてありますから判断しやすかったと思いますが、資料だけを見てそれが何なのかを判断できるようにしておくことが難関校志望者には求められます。